

## 第 206 回鹿児島県病院薬剤師会研修会 第 4 回医薬品安全対策研修会 & ワークショップ

|                      |      |    |
|----------------------|------|----|
| 医薬品安全管理に関する講演会       |      |    |
| 日病薬病院薬学認定（申請中）       | 1    | 単位 |
| 鹿児島県病院薬剤師会生涯研修認定     | 1    | 単位 |
| 日本薬剤師研修センター研修認定（申請中） | 1    | 単位 |
| 医薬品安全管理に関するワークショップ   |      |    |
| 日病薬病院薬学認定（申請中）       | 1    | 単位 |
| 鹿児島県病院薬剤師会生涯研修認定     | 0.75 | 単位 |
| 日本薬剤師研修センター研修認定（申請中） | 1    | 単位 |

鹿児島県病院薬剤師会会長 武田 泰生  
同 医療安全対策委員会委員長 加世田良一

第 4 回医薬品安全研修会 & ワークショップを開催いたします。前回ワークショップの参加者より、医薬品安全管理責任者のみならず、立場に関係なく意見交換ができるようにしてはどうでしょうか？とご要望がありました。多くの先生方に、午後の部も御参加していただきたいと企画しました。今回も 2 部構成とし、第 1 部は、“医薬品安全管理に関する講演会”、第 2 部は、“医薬品安全管理に関するワークショップ”を行います。

講演会は、日本病院薬剤師会副会長の土屋文人先生に「病院薬剤師の使命と責任 —これから求められる薬剤師とは—」をテーマにご講演いただきます。ワークショップは、以下 2 つの現状と問題点について、ご希望のテーマについて意見交換を行い、業務手順の見直しの参考になるように、成果物の発表を合同で行います。

1. 患者情報を収集・管理し、収集された患者情報を施設間で共有する。  
（退院時薬剤情報管理指導料の算定有無に関わらず、情報共有ツールの具体例）
2. ポリファーマシーによる有害事象を回避する。特に虚弱な状態における患者「例：高齢者」（方法論と施設間情報共有）。

内容は、お薬手帳の本来の使用方法、退院時薬剤情報管理指導の実際、施設間情報連絡書の利用促進、ポリファーマシーの対応となります。なお、意見交換を深めて頂きたたく、お二人の先生に具体的な事例紹介をお願いいたしました。

1. を サザン・リージョン病院薬剤部 野添大樹 先生
2. を 天陽会中央病院薬剤部 中野公 先生

また、土屋先生におかれましては、講演会後もコメンテーターをお願いしております。具体的な活動提案など活発な意見交換ができる良い機会ですので、多数、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：平成 30 年 1 月 7 日（日）

第 1 部：医薬品安全管理に関する講演会 10：30-12：30

第 2 部：医薬品安全管理に関するワークショップ 12：45-15：00

場所：鹿児島大学医学部鶴陵会館（鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1）

注：車でお越しの場合は、駐車券を会場までお持ちください。無料処理をいたします。

第 2 部のワークショップにご出席いただく先生方には申し訳ございませんが、食事は、各自ご準備ください。大学病院内の売店などもご利用できます。

申込締切：平成 29 年 12 月 25 日（月）

主催：鹿児島県病院薬剤師会

### 第 1 部 医薬品安全に関する講演会（10:30~12:30）

- 1) 医薬品安全管理に関する講演会（質疑応答を含む）（10：30～12：00 90分）  
座長：鹿児島県病院薬剤師会 会長 武田 泰生 先生  
「病院薬剤師の使命と責任 —これから求められる薬剤師とは—」  
演者：日本病院薬剤師会 副会長 土屋 文人 先生
- 2) ワークショップ用活動紹介（12：00～12：30 30分）
  1. 患者情報を収集・管理し、収集された患者情報を施設間で共有する。  
サザン・リージョン病院薬剤部 野添大樹 先生
  2. ポリファーマシーによる有害事象回避する  
天陽会中央病院薬剤部 中野 公 先生

## 第2部 医薬品安全管理に関するワークショップ

### テーマ

1. 患者情報を収集・管理し、収集された患者情報を施設間で共有する。
2. ポリファーマシーによる有害事象を回避する

|                      |               |     |
|----------------------|---------------|-----|
| 食事を摂りながらのグループ内での自己紹介 | 12:45 ~ 13:15 | 30分 |
| グループ討議               | 13:15 ~ 14:30 | 75分 |
| 質疑応答：合同で成果物の発表       | 14:30 ~ 15:00 | 30分 |

コメンテーター 日本病院薬剤師会 副会長 土屋 文人 先生

### 【申込み】

参加資格：鹿児島県病院薬剤師会会員

申込方法：可能な限り A), B) でお申し込みをお願い致します。

- A) 鹿児島県病院薬剤師会ホームページのトップページ以下のサイトから  
第4回医薬品安全研修会&ワークショップのお申込みサイト
- B) 下のQRコードから上記サイトへ (Google では動作確認済み)



- C) A), B) で動作不良の場合は、申し訳ございません。以下の必要事項を別紙に記載して「鹿児島県病院薬剤師会事務局」へ FAX でお申込みください。  
FAX 番号 099-265-5293

申込締切：平成 29 年 12 月 25 日(月)

問合わせ：曾於医師会立病院薬局

加世田良一 TEL 099-482-4888(代)

- \* グループ分けは当日発表します。ご希望に添えない場合もございます。予め、ご了承ください。
- \* 第1部の講演会を含め最後まで出席された方へは、鹿児島県病院薬剤師会より「修了証」を交付します。

### 【駐車場について】 鹿児島大学病院



# FAX 099-265-5293

鹿児島大学病院薬剤部内 鹿児島県病院薬剤師会 事務局 御中

第4回医薬品安全研修会&ワークショップ 鹿児島県病院薬剤師会 医療安全対策委員会  
平成30年1月7日 鶴陵会館

**参加お申し込みは、可能な限り個人単位で、県病薬ホームページかQRコードからお願い致します。**

ご参加希望

A. 医薬品安全管理に関する講演会のみご参加頂ける先生方へ

| 施設名   |  |
|-------|--|
| 参加希望者 |  |
|       |  |
|       |  |
|       |  |

B. ワークショップにご参加頂ける先生方へ。個人単位でお申し込みお願い致します。  
グループ分けの参考といたしますので、以下のアンケートにご回答下さい。

施設情報、基本情報

| ご施設名 | ご氏名 |
|------|-----|
|      |     |

- 経験年数  0~3、 4~6、 7~9、 10年以上
- 薬剤師数:常勤・非常勤、合計何名ですか?概算で結構です。 ( ) 人
- 電子カルテですか?  はい、 いいえ
- 参加したいワークショップテーマ。いずれかを選択して下さい。業務手順の見直しの参考になるように、成果物の発表を合同で行います。
  - 1. 収集された患者情報を施設間で共有する。
  - 2. ポリファーマシーによる有害事象回避する。
- 【持参薬の管理】持参薬の内容を確認したうえで、
  - 医師に対し、服薬計画を提案するなど、薬学的管理を行っている。
- 持参薬の残薬がある場合、退院時処理について
  - 患者家族の同意を得て、廃棄している。  そのまま返却している。
  - 関与していない。
  - その他:( )
- 退院時薬剤情報管理指導料(90点)の算定状況について
  - 算定できている。  一部、算定できている。  算定していない。
- 退院時の薬剤情報提供について
  - ほぼできている。  一部、できている。  ほとんど出来ていない。
- 【退院時の情報共有ツール】退院時に利用されるツールにチェックをお願い致します
  - お薬手帳、 退院時薬剤情報管理指導書、 施設間情報連絡書
  - 写真付/服薬指導 CD-ROM、 その他:

土屋先生へのご質問

( )

申込締切:平成29年12月25日(月)  
お問合わせ:曾於医師会立病院 薬局  
加世田良一 TEL 099-482-4888(代)